

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	特発性炎症性筋疾患(IIM)患者における嚥下障害の予後の検討
研究責任者	聖隷浜松病院 膠原病リウマチ内科 大村晋一郎
研究実施体制	【研究責任者】聖隷浜松病院 膠原病リウマチ内科 大村晋一郎 【研究分担者】聖隷浜松病院 膠原病リウマチ内科 宮本俊明 聖隷浜松病院 神経内科 内山剛 聖隷浜松病院 神経内科 佐藤慶史郎 聖隷浜松病院 リハビリテーション科 西村立
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2024年3月31日
対象者	2000年4月から2022年3月までの間に聖隷浜松病院 膠原病リウマチ内科または神経内科に通院または入院したIIMの患者さん。
研究の意義・目的	IIMの重要な合併症である嚥下機能障害は、生命予後や生活の質(Quality of Life, QOL)を脅かす重篤な病態です。国内の大規模な長期観察研究の報告は少なく、また嚥下機能障害に関する長期観察研究の報告は海外でもほとんどありません。今回我々は日本人IIMにおいて、嚥下機能予後および臨床的特徴、生命予後について調査を行います。
研究の方法	2000年4月から2022年3月までの間に聖隷浜松病院 膠原病リウマチ内科または神経内科に通院または入院したIIMの患者さんについて、2017年ACR/EULARの分類基準でdefiniteまたはprobableである患者さんを抽出します。その上でその後性別や年齢など臨床的特徴、ステロイドなどの治療、最終観察時の死亡の有無と嚥下障害の程度をカルテ調査します。なお嚥下障害についてはFood Intake LEVEL Scale(FILS)で評価します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 膠原病リウマチ内科 (氏名)大村晋一郎 TEL:053-474-2222(代表) 膠原病リウマチ内科外来 9:00~17:00 平日